



九州佐賀国際空港東側にある「佐賀県防災航空センター」では、令和3(2021)年3月28日、佐賀県初の消防防災ヘリコプター「かちどき」の運用を開始しました。災害発生直後の迅速な情報収集や、救助・救急・消火活動といった消防からの緊急要請への対応など、県自らの判断で運用することにより、大規模災害時に複数のヘリを効果的に運用するノウハウを得ることにつながります。

県内の消防本部から選抜された隊員9名の活動班と、ヘリの操縦、整備、運航管理を行う運航班(エス・ジー・シー佐賀航空(株)に委託)からなる「佐賀県防災航空隊」が、「かちどき」に乗り込み、上空から佐賀の安全・安心を守ります。

3 上空から 安全・安心を守ります！

イベント参加者が、体験を通して楽しく学び、川の魅力を感じる機会を提供していきます。



受賞者記念撮影



佐賀県の交通事故は、人口10万人当たりの人身交通事故発生件数に換算すると全国ワーストレベルです。こうしたことから県では、県民一人一人が「交通事故ゼロ」を自らの課題として認識し、交通安全の意識を高めてもらうため、デザインの力によって行動変容を促す「SAGA BLUE PROJECT」を開催しています。昨年は、交通マナーアップキャラッチャーフレーズ「やめよう！佐賀のよからうもん運転」を広く県民に周知するためのデザインコンテストを開催しました。

今年度も、佐賀県交通安全キャラクターの「マニャー」と一緒に、「やめよう！佐賀のよからうもん運転」を呼びかけ交通安全対策を行っていきます。安全で安心な佐賀県の実現を目指していきましょう。

「避難タイムライン作成例」

【福井県のいのちを守る】避難タイムライン(様式1-1)	
当施設の災害リスクを確認！	
土砂災害リスク	
施設は、土砂災害区域内外にあります。 大雨が降ると、 <input checked="" type="checkbox"/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) <input type="checkbox"/> 土石流 <input type="checkbox"/> 地すべり が起きる危険があります。	
避難のタイミングと避難先	
避難開始(台風接近時など施設外に安全に避難できるとき) 警戒レベル3(高齢者等避難)の避難情報が発令されたとき 避難先 特別養護老人ホーム〇〇(協定施設) (避難に要する目安時間:約60分)	
避難開始(施設外への避難に危険が伴うとき) 土砂キックル(強度分類)で、施設がある地域で「うす雲」(非常に危険)が出現したとき 避難スペース:がけとは反対の施設2階以上の部屋 (避難に要する目安時間:約30分)	

お問い合わせ先

- ①【消防防災ヘリコプター】 防災航空センター ☎ 0952-34-9001 ✉ bousaihoukousenta@pref.saga.lg.jp
- ②【SAGA BLUE PROJECT】 くらしの安全安心課 交通事故防止特別対策室 ☎ 0952-25-7060 ✉ kurashianzen@pref.saga.lg.jp
SAGA BLUE PROJECT URL <https://saga-blueproject.jp>
警察本部 交通企画課 ☎ 0952-24-1111(代表)
交通安全に関するお知らせ(県警) URL <https://www.police.pref.saga.jp/koutsu.html>
- ③【福祉施設のいのちを守る】 福祉課 ☎ 0952-25-7053 ✉ fukushi@pref.saga.lg.jp

佐賀さいこうビジュョン

くらしを 守る

Environment



森川海人プロジェクト
キャラクター
もりかわかいと
森川海人くん

1 流域治水を推進します

令和元年佐賀豪雨をはじめ、近年、気候変動による大規模な水害が起きています。これに備えるため、国、県、市町などの関係者が協働し、河川、集水、氾濫区域を合わせた流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の取組を推進しています。

計画的に進めるため「流域治水協議会」を設立し、地域の特性に合わせた浸水対策を行っています。

今後、①氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を柱とした「流域治水対策を行っています。



プロジェクト」により、ハード・ソフト一体となつた総合的な防災・減災対策を進めます。

2 川をもっと身近に、 川が楽しくKAWA！

KAWARU PROJECT



川下り体験(佐賀市)



KAWARU交流会

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむ活動を始めるきっかけづくりを支援するため「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

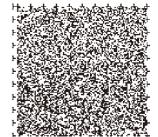
今年度も、川に親しむイベント、学習会を行う団体への活動支援事業(KAWARUチャレンジ事業)や、森・川・海それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、SUPボードなどを活用した環境学習や防災訓練なども予定しています。

5 福祉施設のいのちを守る 「災害対応力の向上を目指して

近年、多発している自然災害の状況を踏まえ、社会福祉施設においては、水害や土砂災害に対する実効性のある備えが必要です。

そこで、社会福祉施設において、災害発生時に「いつ」「誰が」「何をするか」といった防災行動を簡潔に、「避難タイムライン」という新しい考えに基づいて整理し、作成するWEBセミナーを実施します。

また、専門家派遣による伴走支援や災害物資の購入補助などにより、各施設のニーズに応じ、丁寧に支援することで災害時における対応力の向上を図ります。



お問い合わせ先

- ①【流域治水】 河川砂防課 ☎ 0952-25-7161 ✉ kasensabou@pref.saga.lg.jp
- ②【KAWARU PROJECT】 河川砂防課 ☎ 0952-25-7161 ✉ kasensabou@pref.saga.lg.jp